

## 展示会から見る市場動向

西尾 麻里

今回は、刻一刻と変化する中国の消費市場について、広島県企業が出展した3つの展示会から、それぞれの動向を紹介したいと思います。

### <キッズ・ベビー・マタニティ>

まずは、7月19-21日開催の「第17回上海国際キッズ・ベビー・マタニティ産業展（CBME2017）」からご紹介いたします。対象分野はマタニティ・ベビーケア用品／ベビーカー、カーシート、家具／食品・ヘルスケア用品／玩具、教育用品など多岐にわたり、今年は2,662社（3,952ブランド）が出展、3日間で88,316人の来場者を迎えました。前年度比で出展社数が約12%、来場者数が約4%の増と市場の拡大がみられます。

会場では、「一人っ子政策廃止」による新生児数増加、平均世帯収入の継続的な増加、越境EC市場の拡大等ビジネス機会の増加が見込まれる中、絶好の機会として、日本をはじめ、北米やスペイン、韓国、シンガポール、イギリスなどが国家パビリオンを設置し、他ブースとの差別化を図っていました。日本貿易振興機構（ジェトロ）が設けたジャパンパビリオン以外に単独で出展する日系企業も多く、呉市の（有）土井酒店は、「添加物と砂糖を使わない海藻ゼリー」を離乳・妊婦用の食事代わりとして来場者にPRしていました。

様々な商品・サービスが紹介される中、とても印象的だったのは、この分野でもスマートフォンのアプリの活用が進んでいたことです。アプリをダウンロードすることにより、「入眠を助ける音楽」や「睡眠記録」、「空調などの室内環境制御」、「赤ちゃんの健康管理」などの機能を使うことができると、あるブースでは紹介されていました。

一方では、「月嫂（ユエサオ）」と呼ばれるベビーシッターを紹介する仲介会社のブースや、会場内の一角では、おむつ替えの技術コンテストが開かれるなどしており、ITと昔ながらの技術を融合させた育児環境の促進が今後の主流になっていくのかもしれない。



（多くの人でにぎわうCBME会場）

### <機内食、駅弁、高速列車内販売>

次は、同じく7月19-21日に開催された「第6回中国国際航空、クルーズ及び鉄道食品飲料展（CTCE China 2017）」です。

同展示会では、広島市に本社を置く「(株)三島ホールディングス」グループの「大連三島食品有限公司」がブースを設置し、ANAやJALの機内食にも提供している「めんつゆ」や、惣菜、業務用ふりかけ、各種ソース・ドレッシングなどを展示していました。

中国では、往々にして鉄道で売られている弁当は美味しくないとされており、多くの乗客はインスタントラーメンを持ち込んで食べています。これは弁当業者がほぼ決まっており、競争原理が働かない現状が要因のようです。三島食品の担当者によると、高速鉄道の購買担当者がブースに立寄るなど、出展の反応は良かったということです。この高速鉄道担当者は、今回、車内販売の軽食を探しているようでしたが、味に期待できない現状の打開を鉄道側も模索しているようです。

また、出展社・来場者は共に前年度より減少したとのことでしたが、中国全土に鉄道網が敷かれ、今後も市場が拡大していくことは確実です。出展社のほとんどが中国系企業でしたが、その中において、日本の技術で鉄道車内食の改善と発展に立ち向かう同社の活躍を期待したいと思います。

## <日用品>

最後は、8月3-5日に開催された「第111回中国日用品百貨商品交易会」と同時開催されている「第7回日本精品展 in 上海 2017」です。日本精品展には、生活雑貨を扱う広島市の「アイメディア(株)」が出展していました。初日、担当者に話を聞いたところ、バイヤーからの問い合わせや他地域での展示会出展案内など、既に何件か商談等があったそうです。「このような展示会に出展するのは初めてなので、バイヤーの話に安易に乗るのではなく、しっかり実態を把握したうえで商談を進めていきたい」と語っていました。

また、会場には6,500余りの出展ブースが展開されていましたが、中国企業の製品が以前に比べ洗練されているのに驚きました。商品自体の見た目が良いだけでなく、ブースデザインも人目を惹くものが多かったため、最初は外国企業のブースと勘違いしたほどでした。アイメディアの担当者も同じ感想を持ったようで、これまで「世界の工場」として海外製品を作り続けてきたことが、デザインにも精通し、洗練された商品の製造に生かされているのではないかと分析していました。

このように進歩した中国企業製品に対し、ただ漠然と「日本ブランド」というだけではこれまでの「日本商品価格」での販売は通用しなくなっており、明確な差別化が求められています。

情報化社会が益々深化し、消費者の情報量が多くなっている現代中国においては、きめ細やかで独自性の強い技術力とそのアピール力が重要になってくるのではないのでしょうか。